

学校と放課後児童クラブの連携について

現在、放課後児童クラブにおいては、学校施設の活用により、実施場所を確保するとともに、処遇改善・就労条件の緩和などにより指導員の確保を図ることで、「量」を確保し、入所希望者全員を受け入れています。また、多くが教員や保育士等の基礎資格を有する指導員に対して様々なスキルアップ研修を実施し、「質」の高い育成に努めているところです。

今後、放課後児童クラブの利用ニーズは一層高まることを見込まれるため、更なる受け皿を確保していくとともに、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整えていくため、学校等の関係機関との連携を図りながら、「量」と「質」の確保に、引き続き取り組みます。

1 学校施設の更なる活用（ハード面）

(1) 現状

- ・クラブ専用室として、学校の余裕教室を改修するとともに、余裕教室がない場合は、特別教室や幼稚園、コミセン施設との共用を行っている。
- ・活動場所として、運動場、体育館、プール、図書室等を利用している。

<学校施設の活用状況>

専用室			(内 特別教室等共用)
余裕教室のみ	プレハブのみ	余裕教室とプレハブ	
10校	11校	7校	(4校)

(2) 課題

- ・共働き家庭等の増加により、入所希望者が年々増加していることから、今後も引き続き、新たな実施場所の確保が必要となる。
- ・通常の育成支援を行う場所に加えて、夏休み期間のみの受け入れのための場所、児童が体調の悪い時に静養できる場所、障害のある児童や配慮を必要とする児童の情緒が不安定になった場合のクールダウンのための場所、着替えや指導員の休憩のための場所が必要である。

(3) 今後の取り組み

- ・新たな実施場所については、「放課後児童クラブのあり方検討プロジェクトチーム報告書」や「あかし教育プラン」のアクションプランにおいて方針を示している通り、余裕教室のクラブ専用室への改修や特別教室・普通教室の共用により確保していく。
- ・児童数の推計、過去5年間のクラブ利用率の推移、保育所利用率の見込みを基に算出した実施場所の必要量の見込みを踏まえ、クラブ専用室への改修等を行う具体の教室について、教育委員会との協議のもと、各学校と調整し、今年度策定する「第2期明石市子ども・子育て支援事業計画」において、5か年分の施設整備計画を作成していく。

- ・夏休み期間中の普通教室の利用については、特別教室の共用や夏休み期間のみの受け入れなどに伴い必要となるため、来年度から開始できるよう、今年度中に教育委員会と調整のうえ、学校現場へ周知していく。

2 学校と放課後児童クラブとの情報共有（ソフト面）

(1) 現状

- ・学校とクラブのそれぞれのお便りで行事などの情報交換を行っている。
- ・安全対策に関して、不審者情報や気象警報などによる下校の情報を、学校が適時クラブに提供するとともに、防災訓練の引き渡し訓練時には、指導員も参加して連携している。
- ・気になる児童や、支援が必要な児童の対応について、情報共有している。
- ・体調や気分など、当日の児童の状況を学校がクラブに情報提供している。

(2) 課題

- ・クラブごとに情報共有は一定程度なされているが、状況が様々である。

(3) 今後の取り組み

今年度中に、全クラブにおいて、統一的に以下の取り組みを行う。

- ・学校とクラブの日常的、定期的な情報交換の場を設定する。
- ・学校やクラブでの児童の特に気になる様子や体調など、共有する情報を具体化し、教職員及び指導員の共通認識を図るとともに、相互の情報伝達方法を決定する。
- ・窓口となる先生や配付物の受け渡し方法などを決定する。

3 その他

(1) 教職員の意識啓発

教職員に対して、以下のとおり、本市のまちづくりの方向性について、校長会の場などを通して周知徹底する。

- ・学校は地域に開かれた場所であり、地域への施設開放も行っていくとともに、放課後児童クラブの入所児童の増加に対応するため、特別教室や夏休み期間中の普通教室の活用など、学校施設の更なる活用を進めていく。
- ・学校とクラブが連携、協力して子どもを支援していくことが重要であり、学校とクラブの十分な情報共有を進めていく。

(2) 指導員の質の向上

今年度からスキルアップ研修の内容を以下のとおり充実し、指導員の資質及び育成力の向上を図る。

- ・運営委員会事務局に今年度配置したスーパーバイザーや指導員アドバイザー、主任指導員などを中心に、OJTの実施やチームワークづくりの支援、ベテラン支援員の持つノウハウの支援員全体への共有や学校との連携の必要性の周知など

を行う。

- ・発達障害児などへの理解の向上を図るため、現在実施している発達支援センターのおひさま訪問や作業療法士による訪問指導に加え、明石養護学校の先生を講師に招いての研修などを行う。
- ・虐待が疑われるケースへの対応など虐待防止研修を実施する。

(3) 地域との交流

現在、地域との交流や地域による学習支援、放課後子ども教室との連携など各クラブで行われている学校・クラブ・地域の連携の先進事例について、クラブ全体で情報共有を行っているが、加えて、以下のとおり、新たな取り組みを行い、更なる連携を促進していく。

- ・全クラブにおいて、今年度の夏休み期間中に行われる行事（夏祭りなど）へ、地域の人を招待し、クラブに関心を持ってもらうきっかけづくりを行う。
- ・来年度は、クラブへの支援体制の強化など、地域との連携を更に進めていく。

（連携取組例）夏祭り、コミセン・スポーツクラブ21の行事への参加

夏休み期間等の地域・学生ボランティア派遣（学習支援など）

地元企業による体験活動 など